



上皿てんびんの使い方を知ろう

小学5年 理科 単元：てこ

重さの測定に利用する上皿てんびんの正しい使い方を、アニメーションなどを通じて学ぶ。

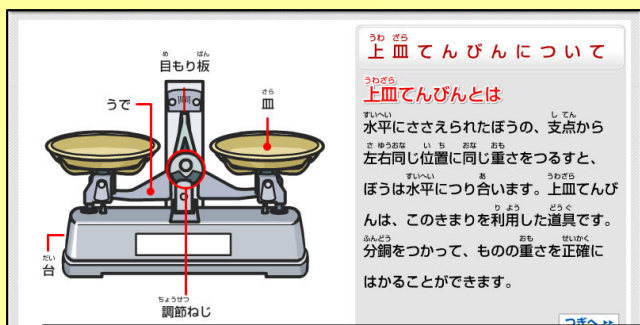
小学館の図鑑
デジタル NEO



「教科書インデックスからさがす」の「5年」をクリック



①「てんびんとてこ」
→ ②「上皿てんびんの使い方」をクリック

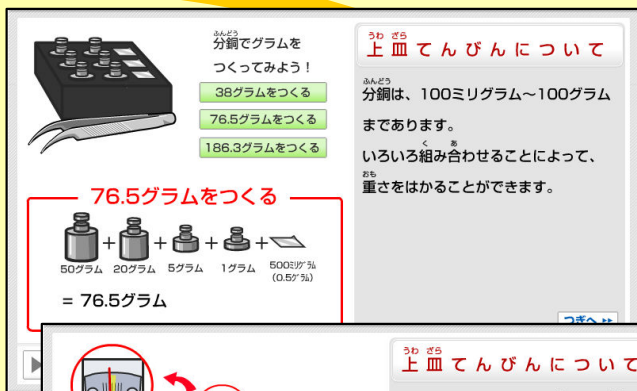


上皿てんびんについて
上皿てんびんとは
水平にささえられたぼうの、支点から左右同じ位置に同じ重さをつると、ぼうは水平につり合います。上皿てんびんは、このきまりを利用した道具です。分銅をつけて、ものの重さを正確にをはかることができます。

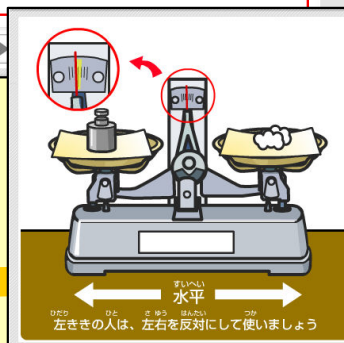


上皿てんびんについて
使用前の注意-2
分銅を手で持つと、手の油がついて重さが変わってしまいます。分銅を持つときはかならずピンセットを使いましょう。分銅の形によって、ピンセットの向きを変えましょう。

【つぎへ】を順にクリックしていくことで、上皿てんびんの使い方や、使う際の注意事項を学ぶことができます。



上皿てんびんについて
分銅は、100ミリグラム～100グラムまであります。いろいろ組み合わせることによって、重さをはかることができます。



上皿てんびんについて
はかりとりたいものを、少しずつ右の皿にのせます。はりのふれが左右等しくつり合ったら、のせるのをやめます。てんびんは、針の止まった場所ではなく針のふれの大きさが同じかどうかでみます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



- ・アニメーションも交えた、児童にもわかりやすい内容で、上皿てんびんの使い方と、使う際の注意事項が説明されています。

使い方例

- ◆ 上皿てんびんを使った実験などの前に各自が見て、正しい使い方や注意事項を学ぶ。
- ◆ 先生がプロジェクタなどで提示し、解説する。